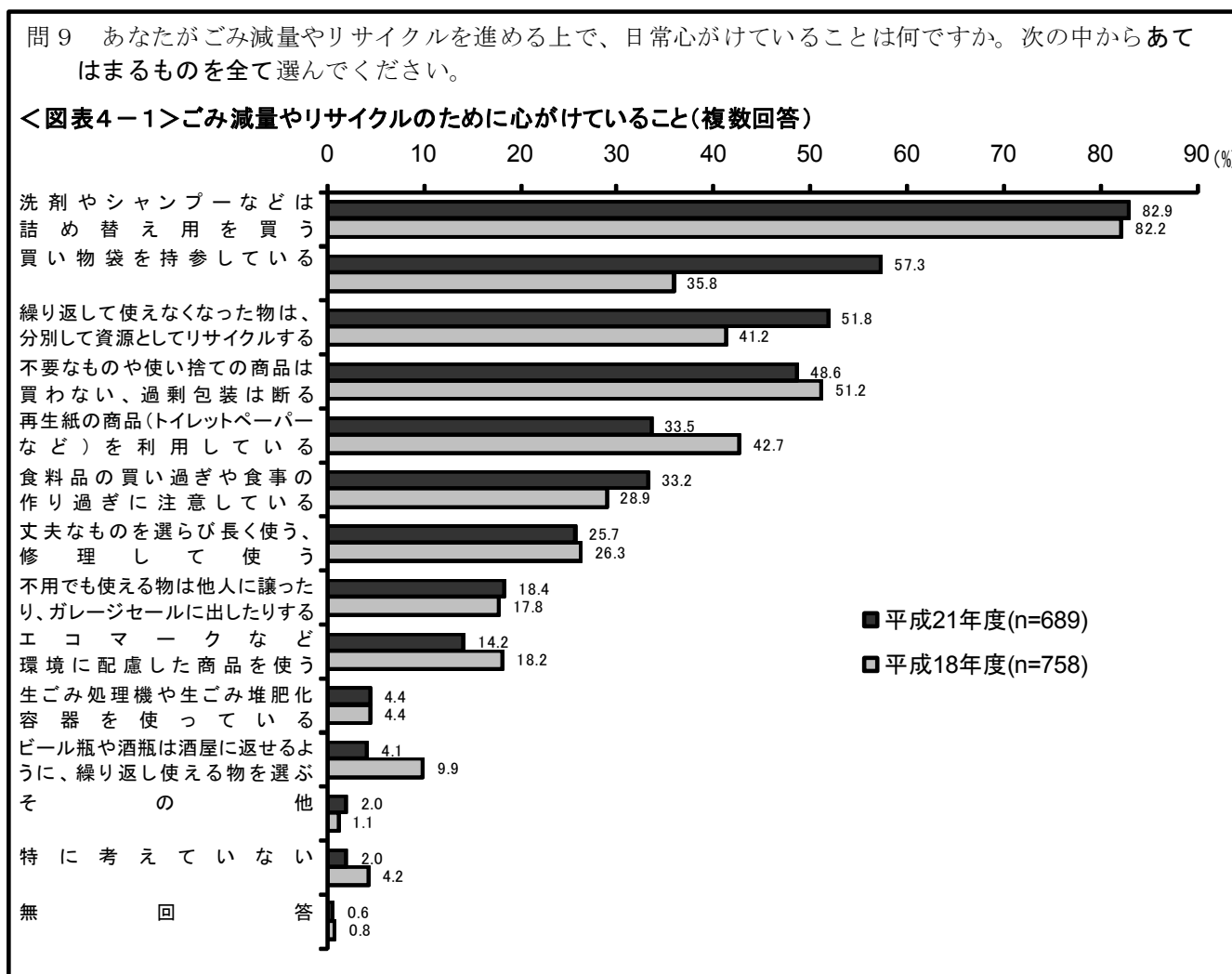


4. 環境問題

(1) ごみ減量やリサイクルのために心がけていること

◇「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」が8割



ごみ減量やリサイクルで心がけていることについて尋ねたところ、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」(82.9%)の割合が8割を占め、最も高くなっている。次いで「買い物袋を持参している」(57.3%)、「繰り返して使えなくなった物は、分別して資源としてリサイクルする」(51.8%)が5割を超え、「不要なものや使い捨ての商品は買わない、過剰包装は断る」(48.6%)が5割弱である。以下、「再生紙の商品(トイレットペーパーなど)を利用している」(33.5%)、「食品の買い過ぎや作り過ぎに注意している」(33.2%)、「丈夫なものを選び長く使う、修理して使う」(25.7%)と続く。

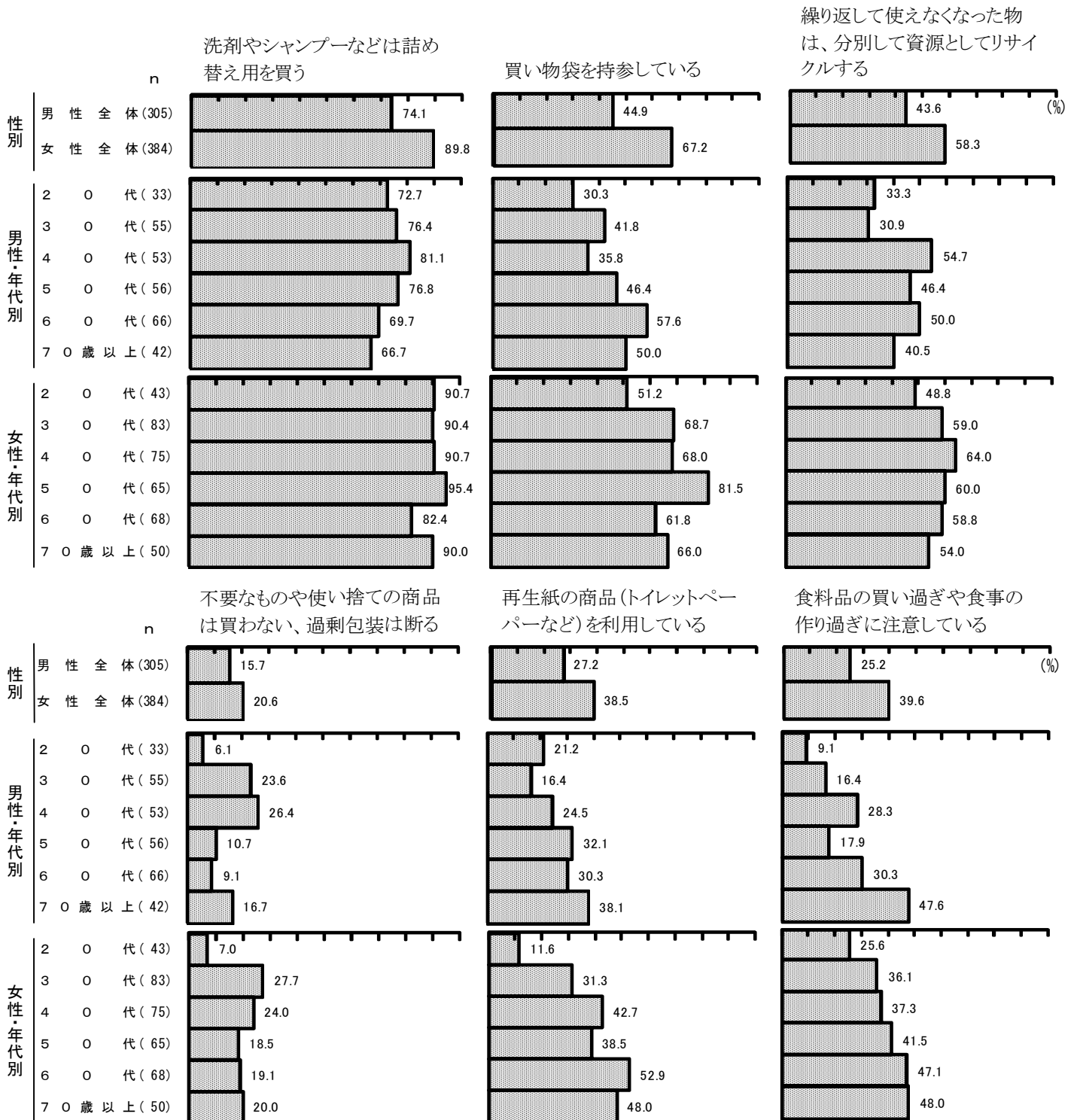
(図表4-1)

平成18年度の調査結果と比較すると、「シャンプーなどは詰め替え用を買う」(82.9%)が前回同様最も高い割合を示し、「買い物袋を持参している」(57.3%)は20ポイント以上、「繰り返して使えなくなった物は、分別してリサイクルする」(51.8%)は約10ポイント前回より増加した。「再生紙の商品(トイレットペーパーなど)を利用している」(33.5%)は約10ポイント、「ビール瓶や酒瓶は酒屋に返せるように、繰り返し使える物を選ぶ」(4.1%)は約5ポイント減少した。(図表4-1)

上位6項目について性別で見ると、全ての項目で男性より女性で割合が高い項目が多くなっており、「買い物袋を持参している」は20ポイント以上上回った。

性・年代別では、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」は男女ともに高い割合を示すのに対し、「買い物袋を持参している」は男性より女性が年代を問わず高い割合を示す。「再生紙の商品（トイレットペーパーなど）を利用している」、「食料品の買い過ぎや食事の作り過ぎに注意している」は、性別を問わず年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向がみられる。（図表4-2）

＜図表4-2＞ごみ減量やリサイクルのために心がけていること／性別・性年代別（上位6項目）

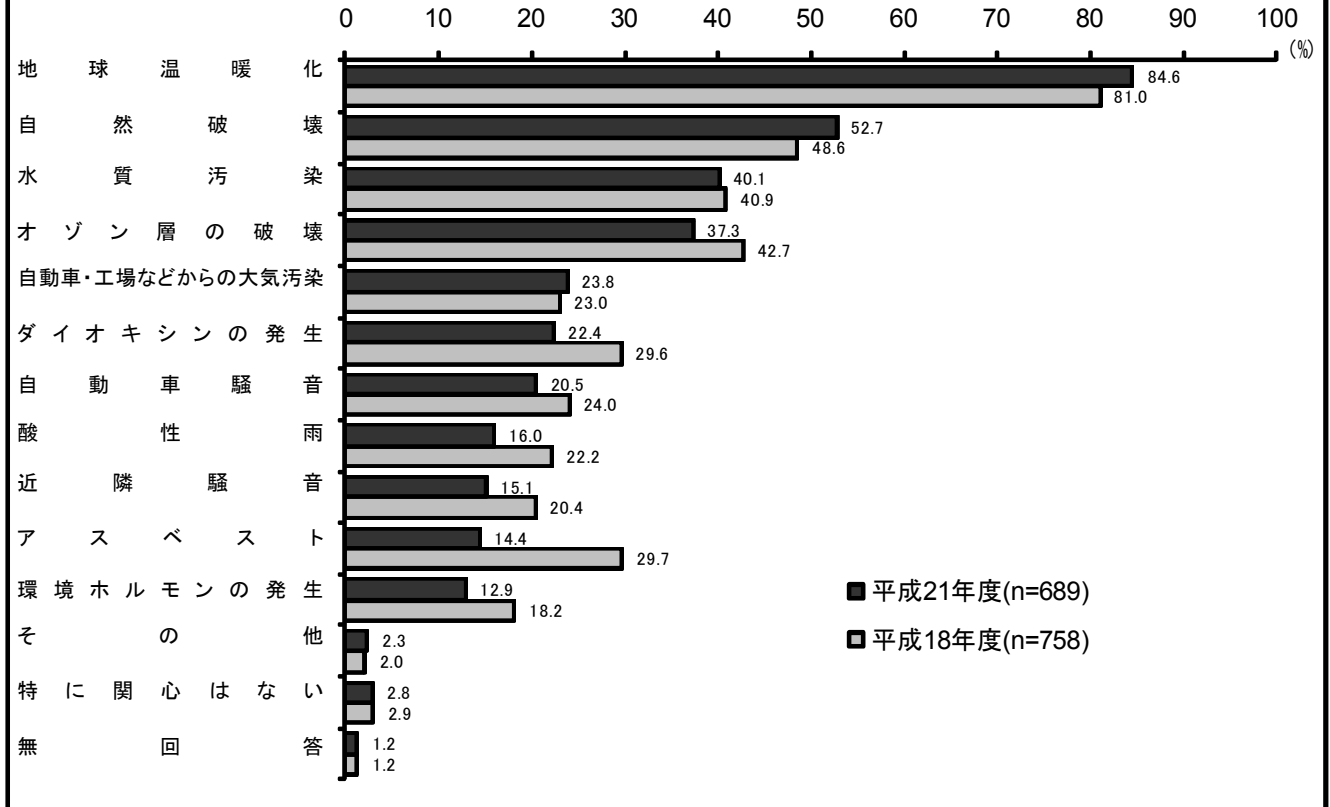


(2) 関心のある環境問題

◇「地球温暖化」が8割半ば

問10 あなたは環境問題について、最近どのような事柄に関心がありますか。関心のあるものを次の中からあてはまるものを全て選んでください。

<図表4-3> 関心のある環境問題(複数回答)



環境問題について、最近どのような事柄に関心があるか尋ねたところ、「地球温暖化」(84.6%)の割合が最も高く、8割半ばとなっている。次いで、「自然破壊」(52.7%)が約半数、「水質汚染」(40.1%)、が4割台で、「自動車・工場などからの大気汚染」(23.8%)、「ダイオキシンの発生」(22.4%)、「自動車騒音」が2割を超えて続く。(図表4-3)

平成18年度の調査結果と比較すると、「アスベスト」が約15ポイント減少した。(図表4-3)

上位6項目について性別でみると、いずれの項目も男性より女性で若干割合が高くなっている。特に「自然破壊」、「オゾン層の破壊」、「ダイオキシンの発生」では、男性より女性で1割程度高くなっている。

性・年代別では、「地球温暖化」はいずれの性年代でも関心が高く、8割弱から9割の高い割合を示している。男性では「自然破壊」が年代が高くなるにつれて高い割合を示し、女性では「オゾン層の破壊」、「ダイオキシンの発生」で同様の傾向がみられたほか、「自然破壊」では、女性の50代で、他の性・年代より最大で30ポイント程度高い割合を示している。(図表4-4)

＜図表4-4＞関心のある環境問題／性別、性・年代別(上位6項目)

